

# 成田 滋賀県議会議員

## セイリュウ



県議会活動レポートVol.45  
2015年8月号



### 成田政隆

滋賀県議会議員

多くの仲間を支えられながらの選挙戦を闘い抜くことができ、9,732票を賜り、三期目の当選を果たすことができました。

さらに地道に、謙虚に。そして、前に力強く進んでいきたいと思えます。引き続きの叱咤激励をお願い致します。

今年**戦後七〇年**。いつまでも平和な社会を保つためにも、政治の役割は大きいといえます。「再び戦争を起こさない」その想いで政治の世界に飛び込んだ初心を忘れることなく、またこの地域をよりよくするために、三期目も全力で頑張つて参ります。

▼成田 がん診療の進歩により、がんを克服した患者が増えています。その一方で手術、放射線照射、化学療法による影響で、生殖機能が低下したり、不妊に

▼知事 がん患者の3分の1は働き盛り世代であり、若い世代のがん患者が治療と仕事を両立するには、**職場の理解と支援と環境整備が必要**。7月から、がん患者の暮らしにおける困難さを把握するため「がん患者生活実態調査」を行い、経済的に困窮している患者への支援のあり方や既存の制度の課題をしっかりと分析してまいります。

▼知事 県としてもこのネットワークに参画し、協働で県民への情報発信を行うとともに、「がん診

療連携協議会」と連携し、医療従事者に**妊孕性温存に関する正しい情報を周知**する。

また、卵子や卵巣の温存のための生殖医療では、高額な医療費が必要となる。妊孕性温存を望む患者は、がんの治療費に加え、さらに経済的な負担が大きくなる。

こうしたことから、治療費の支援については、国への要望も含めまして、今後の重要な検討課題として考えてまいります。

▼成田 がんは生活習慣病の一種で、歳を取ってから発症する病気であると考えられがちだが、年齢に関係なく、起こりうる病気であり、早期発見すれば、いくらでも社会復帰のできる病気である。治療費や経済面、仕事、家族の不安がある中で、抗がん剤治療をはじめとした闘病や就労に対して、経済的な支援が必要であるが、若年がん患者に対する支援について？

### 6月定例会議「一般質問 若年がん対策について」

### 滋賀がん・生殖医療ネットワーク

がん治療等によって生殖機能が失われる恐れがある場合に、卵子や精子などを凍結保存し、妊孕性(子どもを持てる可能性)を残す「がん・生殖医療」の普及を目指す組織であり、滋賀医科大学付属病院をはじめ、がん治療の拠点病院や泌尿器科・産婦人科を持つ病院、滋賀県など18機関が参加し、生殖医療を受けられる施設等の情報発信に力を入れる。

また患者や家族が自由にホームページで閲覧できるようにし、卵巣や精子、精子の凍結など各種方法の対象年齢や長所、短所、必要な期間をまとめ、受診できる県内医療機関の一覧も紹介し、加えて、治療で患者と接することの多い医師や看護師にも働きかけ、勉強会などを通じて生殖医療についての知識を深めていく。



【事務局】  
滋賀医科大学医学部附属病院 産科婦人科内  
〒520-2192 大津市瀬田月輪町  
TEL : 077-548-2267 FAX : 077-548-2406  
E-mail : ofnshiga@belle.shiga-med.ac.jp  
http://www.sumsog.jp/of-net-shiga/objective



### 成田セイリュウ 活動アルバム

▼成田 教育費が年々高くなっていく中、ワーキングプアなど労働環境の不安定化は止まらず、子どもがいるにもかかわらず、夫婦のどちらかが仕事を失う恐れもある。また非正規化が進み、共働きしていかねば暮らしていくことすら危うい状況にもあります。子どもがいるのに働かなければ、ダイレクトに貧困につながる。

### 子どもを産み育てやすい環境づくりについて



全国の青年議員の勉強会「自治体政策青年ネットワーク」のメンバーで、東京の認定NPO法人フローレンスに調査に行きました。フローレンスは、子育てと仕事、そして自己実現のすべてに、だれもが挑戦できるしなやかで躍動的な社会を目指し、活動をされています。**病児保育事業**において、子どもが病気になる、両親が仕事の都合等でどうすることもできない際に、保育スタッフが自宅で保育する事業であり、現在3,000人の会員のサポートを300人の保育スタッフで行ってられます。

また大阪のNPO法人ノーベルにも調査。地域の子育て経験の豊富なベテランママを保育スタッフとして派遣、地域の小児科とも連携をとり、地域で子育てをする地域密着型の訪問型病児保育事業を行われております。

▼知事 保育の量の拡充としては、待機児童の解消を図るため、平成21年度から平成26年度までに3,832人の定員増を図る。

▼成田 多くの保育所では乳幼児に37.5度以上の発熱がある場合には、熱性けいれんや病状の急変の恐れがあるため、保育を断るか、保育中であっても保護者に引き取りを要請される。都市圏においては定着し始めている訪問型の病児保育についても、滋賀県においても、

▼成田 多くの保育所では乳幼児に37.5度以上の発熱がある場合には、熱性けいれんや病状の急変の恐れがあるため、保育を断るか、保育中であっても保護者に引き取りを要請される。都市圏においては定着し始めている訪問型の病児保育についても、滋賀県においても、

▼健康医療福祉部長 病児・病後児保育の現状は、平成26年度は、9市12の施設で実施をされ、年間延べ3,026人が利用されている。今年度は1市2つの施設の増があり、合計10市14施設での実施が予定をされている。病児・病後児保育は、

子どもが病気の時に、病院や保育所等において一時的に保育するものであり、共働き世帯などが、仕事が終わらない場合に、子どもを安心して預けられる大切な子育て支援の取組の一つであると認識している。

県内や他府県での事例なども含め、実施主体となる市町に情報提供を行うとともに、市町が子育て家庭の多様なニーズを把握し、推進される、**安全・安心に子どもを預けられる取組を支援**してまいります。

### 2015 滋賀びわこ総文 開催



「文化部のインターハイ」と呼ばれる第39回全国高校総合文化祭が7月28日から8月1日まで、22部門に各都道府県の代表約2万人の高校生の参加の下、滋賀県各地で開催されました。開会式では学習船「うみのこ」を題材とし、演劇に合唱や吹奏楽を織り交ぜた構成劇がおこなわれました。

8月4日の文教・警察常任委員会において、運営に携わった生徒実行委員会の高校生との県民参画委員会を開催し、意見交換を行いました。滋賀びわこ総文において、全国から集まってくる高校生に対し、滋賀の魅力発信を行い、記憶に残るおもてなしを懸命に行った生徒の熱い想いが伝わってきました。

今後の滋賀を引っ張っていく、若者たち。この貴重な経験を糧として、多岐にわたる活躍を期待したいものです。

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎1-3-9 e-mail mail@narinari.net URL http://www.narinari.net

成田セイリュウから、みなさまへのお願い

- 滋賀県・大津市に関するご質問、ご意見をお寄せください。
- 定期的に県議会活動レポートを送付いたします。必要な方はご連絡ください。
- 活動や報告についてのご意見、ご感想をお待ちしております。
- ボランティアスタッフを募集しております。

**成田セイリュウ プロフィール**  
チームしが 県議団所属

1974年8月15日 大津市生まれ  
唐崎小、唐崎中、膳所高卒業  
龍谷大学法学部政治学科卒業  
同志社大学大学院総合政策科学研究科修士

議会運営委員会 副委員長  
文教・警察常任委員会 委員  
防災・エネルギー対策特別委員会 委員  
議会改革検討委員会 副委員長  
全国災害ボランティア議員連盟 理事

大津市消防団唐崎分団 班長  
唐崎学区体育振興会 常任理事  
NPO法人おつ環境フォーラム 理事  
滋賀県トランポリン協会 会長  
ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟 運営委員